

# やくしまに 暮らして

ネイチャーガイド  
大野 睦



## 第十一章 講演の仕事

## それぞれの地域の魅力



日頃ガイドとして屋久島の自然についてお話をさせていただいている中で、お客様との会話の中には、国内外の他の世界遺産地域との比較や違いについて話題になることも少なくない。またお客様から多くを学ぶことも珍しくなく、私が知らない世界各地の素晴らしい地域や世界遺産のこと等、話題に尽きない。そんな私は大学を卒業した頃はまだすぐに自分の定住する場所を決めるつもりはなく、世界じゅう各地を訪れたいと考えていたので、今でもオフシーズンを中心に島外や国外の地域を訪れることが多くなっていた。2007年に屋久島観光協会理事としてガイド部会長に就任してからは、島内外にて何かと公職をいただくこ

とも増え、講演させていただくことも増えてきた。そんな時、屋久島のことばかりを話しているのではなく、呼んでいただいた地域の魅力や、屋久島との違いなども話す必要も出てくるため、必然的に講演の前にはそのまちの魅力や背景、歴史などをお伺いしたり、歩いてみたりして自分が感じたことをお話をさせていただいている。そうしているうちに2010年には当時の日本にある世界遺産14箇所全ての地を訪れていた。翌年には、また新たに2カ所登録されることになるのだが…これは私にとってまた新たに訪れる地域が増えたので、今後の旅先を決める楽しみになった。

# 講演とガイド

屋久島とこの地域の違い、というのは講演だけでなくガイドの仕事でもよく用いる。例えば、ここ屋久島で見られるこの植物は屋久島では〇〇に使ったりしますが、関東では、〇〇に使われていますね、など。自分の身の周りのことや知っていることと、今目の前にあるものがリンクするとき、人はその話を印象付けて記憶しやすくなるが、目の前の樹木や草花について、ただただ種の名前だけを伝えたところでそうそう面白いはずはなく、講演の際においてもデータだけを数字のままに読み上げたり、画像を

見せてこれが何です、とだけ話しても面白いはずがない。どれだけ自分のことと比較して現実味をもって感じてもらえるか、またどれだけ興味をそそることが出来るか、講演であってもガイドであってもエンターテイメントとして必要とされる要素は同じなのである。ちなみに写真はにっぽん丸にて船内講演をさせていただく際に用意していただいているネームプレート。講師としてではなくエンターティナーとして自分が求められていることに誇りを感じている。







## 島外での講演

屋久島観光協会ガイド部会長に就任した2007年から2011年の4年間に、屋久島が世界自然遺産に登録されて15年を迎えた。その際に屋久島でも様々な立場からの屋久島の15年を振り返る機会もあり、そしてまた日本各地では世界遺産登録を目指す地域が増えてきたことにより、私が島外で講演をさせていただく機会が増えてきた。これまでに北は紋別、南は石垣島まで各地を訪れ、屋久島の概要や世界自然遺産としての価値、屋久島の魅力などだけでなく現在の屋久島が抱える問題や課題についても述べさせていただいている。どれだけ真似しようとしても絶対に同じにはならない。それぞれの地域がそれぞれの魅力をしっかり地域で守りながら発信してゆくこ

とが必要であるし、発信の方法だって重要である。私が話す内容には、もちろん屋久島の誇るべきところもふんだんに紹介させていただくが、何よりも屋久島が失敗した点、今反省すべき点も、包み隠さずにお伝えしている。エコツアー先進地と言われる屋久島から、同じ過ちや同じ失敗を繰り返すことなく世界に誇るべきニッポンの人や自然、文化を発信出来たら、そこにしかない本当の魅力の欠片を伝えることが出来たら、多くの人とその地域に大いなる期待や希望を持ち、想像力を膨らませて旅を楽しんでくれることでしょう。

大野 睦 BLOG やくしまに暮らして

<http://mutsumi-ohno.seesaa.net/>